

# 墨田区立図書館

・コミュニティ会館図書室

## Newsニュース



図書館電話案内サービス

TEL : 3612-6048

## あずま図書館及び寺島図書館の 統合移転期間中のご利用について

墨田区では、新たな区民ニーズに十分対応できる図書館をめざし、狭あい化したあずま図書館と老朽化した寺島図書館を統合し、新たな図書館の整備を行っており、平成25年3月末に開館します。

統合移転により、あずま図書館と寺島図書館の図書・視聴覚資料等の運搬、整理作業が必要となるため、移転期間中の開館時間とサービス内容が変更になります。皆様にはご迷惑をおかけしますがご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### スケジュール

平成25年1月～	寺島図書館の業務縮小
25年2月～	あずま図書館の業務縮小
25年3月末	新システム導入のため全館休館 (仮称) 統合新図書館の開館



### 移転期間中ご利用できる時間・サービス

#### 【開館時間】

火曜日～土曜日・・・午後2時から8時まで

日曜日・月曜日・祝日・・・午後2時から5時まで

#### 【サービス内容】

- ・予約資料のみの貸出し（予約の受付は、区内に所蔵があるものに限ります）
- ・本、視聴覚資料の返却

※ 区内の他の図書館・図書室は、通常どおりの開館・サービスを実施しています。

# ブックトークボランティア講座を開催しました



JPIC 読書アドバイザーの児玉ひろ美氏によるブックトーク実演。

2回目の講座。グループ演習の前にブックトークの会の石田敏子氏による実演。石田氏は、平成18年度ブックトークボランティア講座の受講生でした。



9月の毎週木曜日に行っていたブックトークボランティア講座(全4回)が終了しました。1回目は、JPIC 読書アドバイザーの児玉ひろ美氏をお招きし、「ブックトークの魅力」について、実演を交えたご講義をいただきました。2回目以降は、班に分かれてグループ演習を行い、最終日には受講生それぞれの方が選んだ3冊の本で、ブックトークを完成させていただきました。受講生の方々は、本の選び方や、本の紹介の仕方等、ブックトークのポイントやコツについて質問をしたり、とても熱心に受講されていました。

墨田区の図書館では、子ども読書推進活動の一環として、区内の小学校等でブックトークを行っています。今回の講座でもご協力いただいたブックトークボランティア「ブックトークの会」の方々にご協力をいただき行っています。

受講生の皆様には、今後もブックトークで子どもたちに本を伝えていきたいと思っただけのこと、またブックトークボランティアとしてご活躍されるのを期待しています。

## 音訳者養成講座を開催中です！

平成24年8月22日から11月14日までの毎週水曜、全13回にわたり都立中央図書館などで活躍されている音訳者遠藤美枝子氏を講師にお招きし、音訳者養成講座(初級)が行われています。

墨田区では、障害者サービスの一環として、視覚障害者などの方を対象に、録音図書の作成や貸出し、対面朗読などのサービスを行っております。この講座では、発声や滑舌の訓練、新聞記事を用いた音訳など、音訳に必要な技術を学んでいただくための実践的な講習内容となっています。



# ベストリクエスト

順位	書名	著者	予約数
1	舟を編む	三浦しをん著	341
2	虚像の道化師	東野圭吾著	284
3	ナミヤ雑貨店の奇蹟	東野圭吾著	279
4	ソロモンの偽証 第1部	宮部みゆき著	224
5	空飛ぶ広報室	有川浩著	181
6	ジェノサイド	高野和明著	172
7	白ゆき姫殺人事件	湊かなえ著	167
8	三匹のおっさん	有川浩著	158
9	人生がときめく片づけの魔法	近藤麻理恵著	158
10	麒麟の翼	東野圭吾著	150

## 寄贈のお願い

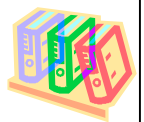
予約が集中している資料については、複数冊購入していますが、早期の提供ができない状況です。上記の予約多数図書で、読み終えてご家庭でお持ちのものがありませんでしたら、図書館への寄贈をご検討下さい。ご寄贈いただける場合は、お手数ですが、図書館・コミュニティ会館にお越しの際にお持ち下さい。お持ちいただいた本は、図書館の資料として活用させていただきます。

## 私の本棚

「毎日の乾物レシピ」

—おいしい、節約、栄養たっぷり—

資料ID 312857550



先日ニュースを見ていたら、東北の震災時に食料が手に入らないとき、乾物を数ヶ月食べ続け助かったというような内容が報道されていました。素材のうまみが凝縮された乾物は、常温で長く保存ができるし、簡単に戻せるし、安価で栄養価も期待できるし、いいことづくめの食材だと再確認しました。そこで今回は乾物、発酵食の本を紹介したいと思います。毎日の乾物レシピ

おいしい、節約、栄養たっぷり！

高城順子著には、ラクラクおすすめ乾物BEST10が出ています。二位から順に、ひじき、干しいたけ、高野豆腐、春雨、わかめ、麩、きくらげ、桜海老、大豆となっています。どの家庭にも常備されていそうなものばかりです。乾物といえば、和食というイメージがありますが、この本は、和食はもちろん洋食、中華、エスニックの料理も紹介されています。ミートソース春雨、高野豆腐のミネストローネ、車麩のフレンチトースト、切干大根の豚キムチなどなど・子供も喜びそうな

メニューも掲載されています。

発酵食をはじめよう お酒もごはんもすむ旨味レシピ 75 塩山奈央著

藝春秋この本には今、流行の塩麹の仕込み方とその料理法、大豆と麹で作る味噌の作り方、ぬか床の作り方のほか、発酵食である酢やチーズ、ヨーグルト、塩辛などを使った料理が紹介されています。この本のはじめに「『発酵食』旨味の素」発酵食には、人間の手では絶対に作りえない「旨味」があり、目には見えない小さな菌（微生物）の働きによって醸し出される、元の食材にはなかった「旨味」。それには有効成分が加わって、栄養価も高まるのだから、願ったりかなったりな食品なのだとあります。塩麹は驚くほど仕込が簡単で、難しく考えず料理に塩を使う感覚でプラスするだけで美味しく仕上がるそうです。昔の人間が考えついた食材の保存方法や美味しく食材を生かす方法、今、現代ではレトルトやカップラーメン、ファストフードなどが市場で蔓延しています。日常的にそれらの食品を口にすることが多くなってきましたが、体のためにも食の豊かさのために、乾物や発酵食などを生活に多く取り入れてみてほしいのかな・と改めて思いました。

(ブックサークル玉手箱 えとよん)

# 今月の特集コーナー

館名	今月の特集コーナー
あずま図書館	一般書：「アスリートにふれる」 ティーンズサービス〔T.S〕：「数の悪魔!？」 児童書：「あきのほん」 窓ぎわ：「えほんとあそぼう」
緑図書館	一般書：「夜」 ティーンズサービス〔T.S〕：「数の悪魔!？」 児童書：「ハロウィン」「おいしい秋」
寺島図書館	児童1室：「せかいのむかしばなし」 児童2室：「くだもの」
立花図書館	一般書：「宗教ってどうなってるの？」 児童書：「ちょっと未来の自分のために知ること、できることをふやしてみよう」 えほんのひろば：「本のでてくる絵本」
八広図書館	一般書：「絵を見よう 絵を描こう」「子どもに戻って読み直したい本」 児童書：「おいしいもの」
東駒形コミュニティ 会館図書室	一般書：「散歩」 児童書：「おいしいものだ～いすき」「あきのひには・・・」
梅若橋コミュニティ 会館図書室	一般書：「秋を楽しむ」 児童書：「たべものの秋」
横川コミュニティ 会館図書室	一般特集1：「おとぎのとびら～童話や昔話をモチーフにした小説」 一般特集2：「夢みる家 住まいのかたち Ideal house and lifestyle」 児童特集：「あきかぜをかんじて」

【一般書コーナー】アスリートにふれる。  
食欲の秋、芸術の秋、旅行の秋、スポーツの秋。  
秋の楽しみ方は人によって様々です。でも時間はあまりないという人必見！ちょっとした時間にアスリート達にふれて、素敵な秋を過ごしてみませんか？



【児童コーナー】あきのほん  
おつきさま、どんぐり、くり、おちば・・・絵本を読んで季節を味わおう！

【ティーンズコーナー】(10代の本棚) 悪魔の数  
秋の夜長は、数字が織り成す不思議な現象について、パズル感覚で楽しんでみませんか？ぜひお気軽にお越し下さい。

【児童コーナー(窓ぎわ)] えほんとあそぼ  
かくしえ、ことばあそび、しりとり・・・絵本でこんなにあそべるよ。

## 緑図書館(すみだ文化講座)と資料展【10月】

すみだ文化講座 156  
講演：佐原鞠鳩の開いた百花園

講師：佐原洋子氏(茶亭さはら、七草の会)  
日時：10月14日(日)午後2時～4時  
場所：緑図書館3階学習室

資料展 「佐原鞠鳩生誕250年記念 向島百花園資料展」  
ミニ文学展 「百花園と文学」

期間：9月9日(日)～10月21日(日)  
場所：緑図書館1階、3階展示コーナー



## 「すみだ」今昔、本の一言

モダンニズム文学の旗手

龍胆寺雄と今井栄夫婦

龍胆寺雄という作家をご存じだろうか。昭和の初期にモダンニズム文学の旗手といわれた流行作家である。今月14日、すみだ文化講座の講師を務めてくださる佐原洋子さんから『人生遊戯派』という彼の作品を教えて頂くまで、迂闊にも知らなかった。

龍胆寺雄は昭和3年、27歳の時「改造」の懸賞小説に応募した『放浪時代』が一等となり、続く第二作『アパートの女たちと僕』では佐藤春夫、谷崎潤一郎らに激賞され、たちまち文壇の寵児となった。時代は、震災後の世界的な不景気のなか失業者が増え、政府も財界も軍部の台頭を押さえられないという、現代に通じる混沌の中にあった。文学の世界では、当時の社会現実を見据えようとしたプロレタリア文学が主流となっていたが、これに対して関東大震災の後、ようやく復興を見せた新しい東京を舞台に、現実を飛び越えて明るく楽しい新しい世界を描こうとしたのが龍胆寺らの目指したモダンニズム文学であった。その影響は村上龍の『限りなく透明なブルー』にまで及んだと龍胆寺は述べている。

『人生遊戯派』は龍胆寺雄が78歳の時、地元「常陽新聞」に連載したもので、作中の主人公の「私は真正正銘の私で、齒に衣を着せず描いたものという。文壇デビュー前の昭和初頭から執筆当時までを描いていて、流行作家となって知った文壇の内幕、とりわけ川端康成の作者に対する陰險な妨害の数々

がつづられている。

しかし、ここで注目したいのは、この自伝小説に無二の友人として、今井栄と妻幸子（ゆきこ）が登場していることである。今井栄は代々続く白鬚神社の宮司で『墨東歳時記』を著した人物であり、その著書は、江戸以来の墨東の風習を知る基本図書となっている。尊称で呼ぶべきところだが、ここでは小説中の人物として容赦願う。龍胆寺の父の教え子で寺島に居た安塚千春の家に寄寓していた龍胆寺は、文学仲間て府立七中（墨田川高校）の教師をしていた今井栄と直ぐに親しくなった。また、今井栄の妻で佐原鞠場（かくう）五代目の娘幸子とも親しくなった。

龍胆寺雄の文章を引用しよう。「今井栄の妻幸子は、向島百花園の娘で、下に八重子、満子、泰子の三人の姉妹と、末に菊助という男の子があった。江戸時代からの名家だった。幸子は色白く大柄で、刻みの深い二重瞼の大きな眼と、派手な表情の唇を持って、いつも、この頃流行の耳隠しという髪を結って、ちよつと妖艶な感じだった。」とその美貌を著している。また、今井夫婦に洋子という女の子が生まれると、龍胆寺は洋服をデザインして裁断し、母である幸子に縫わせて着させたり、抱いて百花園の小径を歩いたりしたという。現在、百花園の佐原鞠場を継いでいる佐原洋子さんのことだ。

今井夫婦が龍胆寺とあまりに親しく付き合っているの、当時白鬚神社の神主だった今井の父と弟は龍胆寺雄を追い出して交際を絶とうとしたらしい。

それがもとで、今井栄は府立七中の教師を辞め、明治書院に勤め先を変えて高円寺に引っ越している。後になって龍胆寺も今井の世話で、高円寺に家を探し、安塚正子と結婚し一家を構えた。安塚正子は安塚千春の娘で小説に度々登場する魔子のモデルといわれていた。佐原生まれの龍胆寺だが、チャキチャキの江戸っ子の今井夫婦とは余程気が合ったらしい。今井夫婦もまた、龍胆寺雄の人生とモダンニズム文学に深く関わっていたに違いない。白鬚神社の古来の伝統を重んじる宮司と、江戸の文化を伝える百花園の娘が、モダンニズム文学の旗頭である龍胆寺と親しく付き合ったモダンボーイ、モダンガールであったことは、この小説を読むまでは信じられないことであった。

現在、緑図書館では佐原鞠場生誕250年を記念して、10月21日まで向島百花園資料展を開いている。三階のミニ文学展では龍胆寺雄の書簡が、佐原洋子さんのご厚意で初公開されている。佐原洋子さんから今井栄の著書『墨東歳時記』を贈られた事への礼状で、龍胆寺が昭和一、二年頃百花園裏に住んでいたことや、洋子さんのご両親のエピソードにふれている。著書とともに是非ご覧いただきたい。

（真津志麻記）



『人生遊戯派』  
出版社：昭和書院  
出版年：1979年刊  
資料ID：112507561

# 墨田区立図書館・図書室 10月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	東・梅・横 コミュニティ 図書室休館			緑「小さい子どもの ためのおはなし 会」10:30~	横「おはなしのじか ん」15:45~	八「おはなしとあそ びのじかん」 10:30~ 立「おはなし会」 14:00~ 寺「おはなし会」 14:30~ 東「おはなしのも り」15:00~ 梅「おはなし会」 15:00~
7	体育の日 8	9	10	11	12	13
東駒形コミュニティ会館 休館			八「おひざでえほ ん」11:00~  緑「こうさく会」 15:15~		横「おはなしのじか ん」15:45~	八「おはなしとあそ びのじかん」 10:30~ あ「あそびとおはな し会」11:00~ 立「おはなし会」 14:00~ 寺「おはなし会」 14:30~ 梅「おはなし会」 15:00~
14	15	16	17	18	19	20
緑「すみだ文化講 座」		東「おはなしれっし ゃ」10:30~	緑「おはなしのへ や」15:15~	館内整理日 全館休館	横「おはなしのじか ん」15:45~	八「おはなしとあそ びのじかん」 10:30~ 立「おはなし会」 14:00~ 梅「おはなし会」 15:00~
21	22	23	24	25	26	27
あ「小さい子どもの ためのおはなし 会」11:00~		寺「おひざでえほ ん」10:30~	あ「こうさく会と おはなし会」 15:15~	 毎月25日は すみだ家庭の日	横「おはなしのじか ん」15:45~	八「おはなしひろ ば」10:30~ 立「おはなし会」 14:00~ 梅「おはなし会」 15:00~
28	29	30	31			



10日(水曜日)の緑図書館の「こうさく会」は『ハロウィンのかぼちゃバスケットをつくろう』です。  
 24日(水曜日)のあずま図書館の「こうさく会とおはなし会」は『写真たてをつくろう』です。  
 14日(土曜日)の緑図書館の「すみだ文化講座」は、一般向けの講座です。  
 行事の詳細は、各館に直接お問合せください。

<b>あずま図書館</b> 文花 1-19-1 電話:3612-6048	<b>緑図書館</b> 緑 2-24-5 電話:3631-4621	<b>寺島図書館</b> 東向島 3-34-4 電話:3611-4610	<b>立花図書館</b> 立花 6-8-1-101 電話:3618-2620	<b>八広図書館</b> 八広 5-10-1-104 電話:3616-0846
<b>東駒形コミュニティ 会館図書室</b> 東駒形 4-14-1 電話:3623-1141	<b>梅若橋コミュニティ 会館図書室</b> 堤通 2-9-1 電話:3616-1101	<b>横川コミュニティ 会館図書室</b> 横川 5-9-1 電話:5608-4500	<b>すみだ女性センター</b> 押上 2-12-7-111 電話:5608-1771	

## 【開館時間】

火曜日～土曜日・・・9:00～20:00  
 日曜日・月曜日・祝日・・・9:00～17:00  
 コミュニティ会館図書室は、  
 月曜日の開館時間が9:00～20:00です。

## 【休館日】

館内整理日《毎月第3木曜日(祝日にあたる場合は翌日)》、年末年始  
 コミュニティ会館図書室は、毎月第1月曜日も休館日です。